

2025年度 景気動向状況調査 分析結果概要簡易版



【景況改善も 先行き見通しは慎重】

会員数 1583名、回答数897、回答率56.7%

回答数及び回答率が過去最高！

< 前年度同期DI推移 > ※括弧は前年度比

業況DI 1 4 (+3)
 売上DI 2 4 (+5)
 経常利益DI 1 3 (+1)



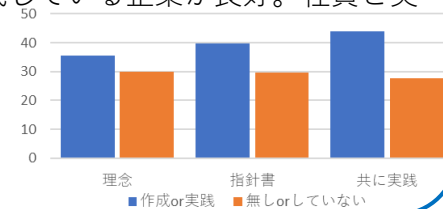
前期は共に2017年度以降最高DIも
 2025年度は慎重は見通し。

< 業種別業況DI >

	前期 (前々期比)	今期見通し	
農林水産業	5 2 (+3 6)	2 8	全体として は前年より 改善。一部 前年より減 少。
建設業	2 (-5)	0	
製造業	1 5 (-2 0)	2 3	
流通・商業	1 0 (+1 0)	5	
飲食業	2 8 (+9)	1 9	
サービス業	1 8 (+3)	2 0	

< 経営指針書と経常利益水準DI >

経常利益水準DIは、引き続き経営理念・経営指針書を作成している企業が良好。社員と実践している企業はより良好。



< 業種別社員数DI > ※括弧は前年度比

農林水産業	3 6 (+3 1)	全体として若干増。 農林水産業が大幅拡大、製造業は減少。
建設業	-1 (+2)	
製造業	-8 (-6)	
流通・商業	1 3 (+6)	
飲食業	3 (+8)	
サービス業	1 1 (+1)	

< 人手不足感DI > ※括弧は前年度比

農林水産業	-3 2 (+5)	製造業以外はマイナス。 製造業は社員数DIがマイナスだがDX化が進んでいるか？
建設業	-5 4 (-3)	
製造業	0 (0)	
流通・商業	-4 3 (-1 1)	
飲食業	-5 2 (+5)	
サービス業	-3 7 (+4)	

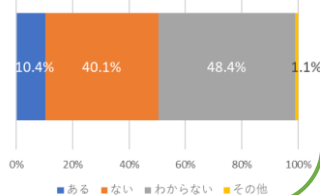
※大きな変化はないが、資金繰りDIも、製造業以外はマイナスだった。

< 給与水準DI > ※括弧は前年度比

農林水産業	6 0 (+2)	業種問わず高水準。「防衛的な賃上げ」の要素も引き続き大きいと考えられる。
建設業	5 9 (-4)	
製造業	7 1 (+1 4)	
流通・商業	5 7 (+2)	
飲食業	5 5 (-7)	
サービス業	4 6 (-3)	

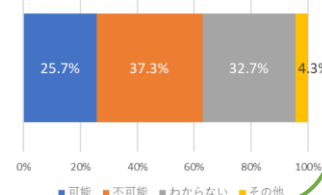
< トランプ関税 >

「影響がない」と「わからない」が多い。当該関税措置が今後どう影響していくのか不透明な部分も多い。



< 最低賃金1500円 >

「不可能」が多い。前期に給与水準を引き上げた割合が2年連続して過半数を締めており、大幅賃上げに慎重な見方が多い？



< 経営上の問題点 >

順位	問題点	今回	前回
1位	仕入れ単価の上昇	13.8%	15.1%(1位)
2位	社員の不足	10.9%	11.6%(2位)
3位	人件費の増加	10.6%	9.9%(4位)
4位	同業者相互の価格競争の激化	10.0%	10.8%(3位)
5位	税(社会保険料含む)負担の増加	6.4%	5.0%(8位)

1位・2位に変化は無いが、3位と4位は入れ替わり、人件費の増加が3位に、前年8位だった税(社会保険料含む)負担増加が5位となった。

詳細は、調査結果（上記QRコードからダウンロード可能）を御覧ください。